

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和元年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの４段階評価

資料3

連携協約項目			事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）						高 松 市	連携市町評価							令和元年度 高松市取組実績	連携市町の取組実績		
					KPI	KPI説明	単 位	令和元 年度 目標	令和元 年度 実績	達成 率		令和元年度の目標設定方法及び目標値に 対する実績の理由	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町			綾 川 町	
1	圏域全体の 経済成 長のけん引	ア	産学金官民一体となった経 済戦略の策定、国の成長戦 略実施のための体制整備	1	産学金官民 一体となった 懇談会の設 置・運営等	圏域全体の経済 成長のけん引等 に係る連携事業 数	瀬戸・高松広域連携中 枢都市圏ビジョンに掲載する圏 域全体の経済成長のけん引 分野の事業（取組）数	事業	15	14	93.3	R5年度までに、4事業を追加することとしており、計画 期間前半の4年間で2事業を追加する。R1年度は 新たに「幅広い層が集まる「場」づくり事業」を追加し た。	A	B	A	A	B	A	B	A	R1年度は連携市町からいただいた意見をもと に、圏域内のふるさと納税に係る共通返礼品 の検討事業を、R2年度からの新規事業として 取り組むことを決定した。	【さぬき市】ビジョン懇談会を実施した。 【東かがわ市】瀬戸高松中枢都市圏ビジョン懇談会等で産学金官民連携の懇談会を開催する 【土庄町】高松市が中心となり、産学金官民一体となったビジョン懇談会の運営等 【小豆島町】懇談会に参加した。 【三木町】懇談会の設置・運営等に関し、必要な協力を行う 【直島町】事務局会、ビジョン懇談会等に参加した。 【綾川町】ビジョン懇談会など積極的に参加できた。
				2	幅広い層が 集まる「場」づ くり事業	瀬戸・高松広域 連携中枢都市圏 ポータルサイトへの アクセス数	イベント情報を掲載する瀬 戸・高松広域連携中枢都 市圏のホームページのアクセ ス数	件	3,300	8,037	243.5	H29年度実績（訪問者数）をベースに、圏域人口 （ビジョン目標）の1%を最終年度の目標とし、暫増 を目標とする。周知方法が限定的なイベントなどを効果 的に周知した結果、目標達成につながった。	A	B	A	A	B	B	B	C	KPIであるポータルサイトへのアクセス数は目標 を達成した。また、連携各市町の担当者が集 まる事務局会で、事業内容についての検討を 始めた。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】ビジョン懇談会の部会として若者部会が設置され、協議が行われた。 【土庄町】瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトのPR 【小豆島町】懇談会の参加、運営、「圏域若者会議」への委員の参加 【三木町】会議の設置・運営等に関し、必要な協力を行う 【直島町】本町のイベントを掲載してもらった。 【綾川町】実績なし
	イ	産業クラスターの形成、イノ ベーション実現、新規創業促 進、地域の中堅企業等を核 とした戦略産業の育成	3	中小企業経 営力強化事 業	講習会等受講者 数	1年間に開催した講習会 等の受講者数	人	2,400	1,523	63.5	受講者数については第6次総合計画の指標にもなっ ており、目標設定は総合計画と同数にしている。 企業側のニーズも高く、1、500人程度の受講を 得たが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い例年 参加者が最も多い確定申告個別相談会の規模が縮 小となり、目標とする受講者数の達成には至らなかった。	B				B	C			R元年度は、「創業塾」など、年15回の講 習会を開催した。 前年度と同じ事業費（共催負担金1,600 千円）で、企業ニーズに合わせた内容で実施 したが、新型コロナウイルスの影響により、 1,500人程度の受講者となり、前年度を下 回る結果となった。	【土庄町】HP掲載協力ができなかったため、実績なし。 【小豆島町】取組み実績なし	
			ウ	地域資源を活用した地域経 済の裾野拡大	4	ブランド農産 物育成支援 事業	たかまつ食と農の フェスタにおける出 展者販売額	たかまつ食と農のフェスタを開 催し、連携市町からも出展 してもらい、地域の特産物の PR及び販売促進を図る。	千 円	9,000	0	0.0	R1年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標 値を設定している。	D	C	B	B			B		【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】東かがわ市農作物トップセールスを実施 【土庄町】イベントへの参加を予定していたが、新型コロナウイルスによりイベントが中止になった。 【綾川町】たかまつ食と農に参加する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。町 独自のイベントにて町内の農産物等のPRはできた。
	Ⅰ	戦略的な観光施策	6	誘客促進事 業観光連携 協議会等の 設置・運営	観光施設等利用 者数	市内の主な観光施設等利 用者数	千 人	6,570	6,646	101.2	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年 後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲 げており、そこから中間目標値として設定。 【目標値に対する実績の理由】 広域的な観光PRを積極的に行った結果、市内の主 な観光施設等利用者数が増加した。	A	B	B	C	C	B	C	B	各自自治体と連携しながら、情報発信等の誘 致活動を行った。	【さぬき市】取組実績なし（観光振興協議会の開催がなかった。） 【東かがわ市】協議会は設置されたがコロナの影響等もあり開催には至らなかった 【土庄町】協議会の開催がなかったため、実績なし。 【小豆島町】取組実績なし 【三木町】情報収集及び情報発信 【直島町】R1年度は観光振興協議会等に参加できていない。 【綾川町】実績なし（県観光振興課の入込客数調査については、町内主要施設の入込客数を報告）	
			7	国内誘客促 進事業	観光施設等利用 者数	市内の主な観光施設等利 用者数	千 人	6,570	6,646	101.2	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年 後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲 げており、そこから中間目標値として設定。 【目標値に対する実績の理由】 積極的な誘致活動の結果、観光施設等の認知度 向上に繋がり、市内の主な観光施設等利用者数が増加した。	A	B	B	A	B	B	B	B	クルーズ船社及び旅行会社を訪問し、本市へ の誘致活動を行った。 ※農林水産課からの執行委任を受け、東京 モノレール及び京急電鉄の車両まど上に本市 の観光PR広告の掲出を実施した。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】R1年度に観光基本計画を策定し、本市の観光協会を中心に誘客促進の取組みを行っている が、圏域内の観光部署や組織との連携が図られていない 【土庄町】アートノショーターミナル 35,368人 【小豆島町】航路で繋がる神戸においてイベント（神戸まつり）出展を行い、観光PR活動を行った。 【三木町】情報収集及び情報発信 【直島町】宮浦港港湾施設のバトロール、イルミネーションの実施。 【綾川町】HPやSNS、広告、イベント等で、町内の魅力を発信し、国内の誘客に努めた。	
			8	海外誘客促 進事業	香川県外国人延 べ宿泊数	香川県内の外国人延べ宿 泊者数	人	700,000	690,820	98.7	【目標の設定方法】 政府目標である「訪日外国人数を2020年に4000 万人」の伸び率を上回る宿泊者数の増加を目指す。 【目標値に対する実績の理由】 令和元年も前年と同様に香川県の外国人延べ宿泊 者数を伸ばしており、目標値よりも多くの外国人観光 客が本市を訪れた。	A	B	B	A	B	B	C	B	高松空港と定期航路で結ばれた台北、上 海、ソウル、香港からの観光客誘致するため、 公益社団法人香川県観光協会に対し、補 助を行うとともに、（公財）高松観光コンベン ション・ビューローが実施する誘客事業に対し 補助を行った。 令和元年の香川県の外国人延べ宿泊客数 は690、820人泊（速報値）となっ ており、対前年比＋26.5%で、増加の一 途をたどっている。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】R1年度に観光基本計画を策定し、本市の観光協会を中心に誘客促進の取組みを行っている が、圏域内の観光部署や組織との連携が図られていない 【土庄町】外国人延べ宿泊者数は把握不明のため、明確な実績数はないが、海外誘客を促進を図った。 【小豆島町】適宜増刷を行った 【三木町】情報収集及び情報発信 【直島町】企業（ベネッセ等）が誘致を推進しているので、町としては事業を展開していない。 【綾川町】外国語版の観光パンフレットの作成し、海外向けの誘客に努めた	

連携協約項目			事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）					令和元年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	連携市町評価							令和元年度 高松市取組実績	連携市町の取組実績	
					KPI	KPI説明	単位	令和元 年度 目標	令和元 年度 実績			達成率	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町			綾川町
			9	国内外観光客向け情報発信事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,570	6,646	101.2	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1％増を目標に掲げており、そこから中間目標値として設定。 【目標値に対する実績の理由】 国内外への情報発信を継続的に実施したことが、観光施設等の認知度向上に繋がり、市内の主な観光施設等利用者数が増加した。	A	B	B	A	B	B	C	A	本市多言語観光サイト「エクスぺリエンス高松」において、瀬戸内国際芸術祭2019の会期に合わせてトップページを瀬戸芸特集ページを制作することでサイトの認知度向上及びページビュー数の増加を図るとともに、コインロッカーの位置情報等の旅ナカでのお役立ち情報を掲載した。	【さぬき市】高松市が実施するイベントにおいて、本市のパンフレット等を配布してもらった。 【東かがわ市】R1年度に観光基本計画を策定し、本市の観光協会を中心に誘客促進の取組みを行っているが、圏域内の観光部署や組織との連携が図られていない 【土庄町】アートショーターミナル 35,368人 【小豆島町】町HPにおいて、観光素材やイベントの情報発信を行った。 【三木町】情報収集及び情報発信 【直島町】アイランラー2019などで観光PR活動・HP・観光マップの配布などで情報を発信した。 【綾川町】英語版の観光パンフレットを作成し、外国人向けの情報発信を強化した。
			10	瀬戸内国際芸術祭推進事業	-	-	-	-	-	-	-	A				A	A		A	実行委員会や市内各島と連携・調整しながら瀬戸内国際芸術祭2019開催事業に取り組んだ。 【土庄町】コシノジュンコ、キム・キョンミンの作品完成式典の開催 瀬戸内国際芸術祭公式イベントの運営協力 【小豆島町】瀬戸内国際芸術祭2019の開催 【直島町】瀬戸内国際芸術祭2019を開催した。	
			11	新たな観光プランの企画、販売等	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,570	6,646	101.2	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1％増を目標に掲げており、そこから中間目標値として設定。 【目標値に対する実績の理由】 ぶち旅プランの販売が観光施設等の認知度向上に繋がり、市内の主な観光施設等利用者数が増加した。	A	B	B	B	C	B	C	B	昨年に引き続き、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の観光振興のため、（公財）高松観光コンベンション・ビューローが造成する「ぶち旅プラン（着地型旅行商品）」の企画・販売事業を支援した。 コース数 9コース 参加者数 112名	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】R1年度に観光基本計画を策定し、本市の観光協会を中心に誘客促進の取組みを行っているが、圏域内の観光部署や組織との連携が図られていない 【土庄町】企画・販売事業の支援ができていない状況のため、実績がなし。 【小豆島町】取組実績なし 【三木町】情報収集及び情報発信 【直島町】圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】さぬき瀬戸大橋広域広域観光協議会にて大阪キャラバンのための情報を提供し、観光プランを旅行会社にPRした。
			12	イベント交流の促進	まつり・イベント入込み客数	観光客誘致に資するまつり・イベント実行団体発表の入込み客数をカウント	人	1,194,200	597,681	50.0	【目標の設定方法】 より効果的な周知宣伝活動により、イベント入込客数について、5年後に1割増を目標に掲げ、設定。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、入込数は目標を下回った。	C	B	B	A	B	A	C	A	SNSを利用した周知宣伝活動のほか、連携市町が実施するイベントや全国的、国際的な会議等において、周知宣伝を行った。 【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】「引田ひなまつり」や「風の港まつり」などのイベントの開催 【土庄町】第39回小豆島まつり 約8,500人 第33回日本一どてかucha大会 約800人 第40回瀬戸内海タートルフルマソン全国大会 約3,281人 【小豆島町】各種イベントの周知宣伝活動の実施 マラソン大会 5,050人 中山千枚田虫送り 500人 小豆島まつり 0人（台風のため中止） 【三木町】R1.10.27に開催した、三木町の秋大祭「獅子たちの里 三木まんて願。」 【直島町】圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】第14回あやがわオタムフェスティバルを開催（来場者数5,000人）	
			13	デリバリーアーツ事業	鑑賞者数	参加を希望される協力団体の提供場所の規模により、鑑賞者数に偏りがあるため、鑑賞者数では判断し難い。限られた予算の中で、公演の質の維持と事業を継続していくことを重点に実施する。	人	2,100	2,591	123.4	事務事業評価と合わせた鑑賞者数で目標設定を行う。 コミュニティセンターなどの大規模な場所よりも老人福祉施設など小規模な場所での開催が増加傾向にある中、鑑賞者数は目標値を上回った。また、開催した団体からは好評であるため再度実施したいという要望が多く、満足度は高い。市民の身近なところで文化芸術に触れる機会を提供するという事業目的も達成している。	A	B	B	C			A	令和元年7月から令和2年2月までの期間で、瀬戸フィルアンサンブル演奏、和太鼓、落語、金管五重奏、民謡、フルート&ピアノデュオ及びトランペット・チェロ・ジャズピアノのトリオの7メニュー、20公演を実施した。 圏域内では、さぬき市で1公演、東かがわ市で3公演、綾川町で1公演を実施した。	【さぬき市】さざんか荘にて11月に瀬戸フィル管弦楽団演奏。 【東かがわ市】瀬戸フィル音楽会を開催した。3回開催、約120人来場。 【土庄町】実績なし 【綾川町】1回実施。 内容：瀬戸フィル音楽会 日時：令和元年11月29日 11時から 場所：綾川町立西分公民館 来場者数：約100人	
			14*1	文化芸術鑑賞等の機会の提供	鑑賞者数（劇団四季ミュージカル鑑賞）	児童、先生を合わせた鑑賞者数（連携市町分含む）高松市と連携市町の全6年生を招待しているため、児童数と引率教員数が鑑賞者数となる。平成25年～27年の平均鑑賞者数を基に目標比を算出する。 （H25:4,985人、H26：5,323人、H27：5,143人）	人	5,144	5,211	101.3	H28年～30年の平均鑑賞者数を基に目標値を算出する。 児童数と引率教員の合計数がそのまま鑑賞者数となるため、その年の児童数の増減による。	A	A	B	A	A	A	A	A	高松市文化芸術財団及び市教育委員会と連携して、劇団四季の無料公演「こころの劇場」を実施した。 ■公演日：令和2年2月19日～21日（3日間：計5公演） ■参加対象者：高松市、さぬき市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、綾川町、附属高松小の小学6年生及び引率教員	【さぬき市】令和2年2月20日の午前の部に参加。 さぬき市内7小学校の児童（6年生）及び教諭計389人が鑑賞。 【東かがわ市】文化芸術鑑賞の場の提供は他地域との連携事業にて同内容のものを実施している。教育プログラムの都合上併用は難しく当該圏域による事業実施にはつながらっていない。 【土庄町】高松市で行われた劇団四季ミュージカルに町内小学校の6年生が参加 【小豆島町】町内にある4小学校6年生が、劇団四季ミュージカルを鑑賞した。 【三木町】町内全小学校（4校）の6年生が、サポート高松で開催の劇団四季ミュージカル「カモメに飛ぶことを教えた猫」を鑑賞 【直島町】鑑賞者数21人（児童19人、引率教員2人） 【綾川町】鑑賞者数：211名（内、町内全小学校6年児童191名）

連携協約項目				事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）						連携市町評価							令和元年度 高松市取組実績	連携市町の取組実績		
						KPI	KPI説明	単位	令和元 年度 目標	令和元 年度 実績	達成 率	令和元年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町
2	高次の都市機能の集積・強化	ア	高度な医療サービスの提供	14*2	文化芸術鑑賞等の機会の提供	参加校数（美術館学習）	参加校数	校	35	23	65.7	H28年度実績（32校）を基に設定。 R元年度は2～3月が新型コロナウイルス感染症の影響により参加校数が減少した。	C	B	B	B	C	B	C	B	高松市内の小中学校に美術館学習の周知を行い、参加を希望する学校に対して、美術館での鑑賞学習及び施設見学等を実施した。また、高松市内及び連携する市町圏域内の小・中学校に特別展チラシを配布し、美術鑑賞の機会を設けた。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】既存の授業日程の都合上利用が難しく事業実施にはつながっていない。 【土庄町】実績なし 【小豆島町】実績なし 【三木町】取組実績なし 【直島町】取り組み実績なし。（参加の呼びかけに至っていない。） 【綾川町】鑑賞校数：小学校0校・中学校0校
				15	観光バリアフリーのためのUDマップ作成・活用事業	UDマップ掲載HP閲覧数	連携中枢都市圏のHPにUDマップを掲載する予定のため、掲載後のHP閲覧者数をKPIとする	件	24,360	60,925	250.1	平成31年4月1日から令和2年3月31日までのUDマップサイトの閲覧件数	A	B	A	B	A	A	B	A	H31年3月26日に公開したUDマップに掲載されている施設情報を、より充実した内容にするため、多様な主体との連携によって、市内企業等への掲載に関する依頼・情報の整理等の取組を推進した。	【さぬき市】UDマップへの掲載はあるが、事業に関連した取組が行えなかった。 【東かがわ市】連携中枢都市圏のHPに市内施設の情報を提供した 【土庄町】UD啓発ポスターの掲示を行った。 【小豆島町】高松市HPにて公開されている。 【三木町】UDに対応した施設等の情報提供及び発信 【直島町】年度末現在、12施設が登録している。 【綾川町】UDマップに掲載しており、実績あり。
	イ	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	16	医療人材の確保・育成	看護師等養成所卒業生の資格取得率	看護師等養成所の運営に対して助成を行い、卒業生の資格取得率の向上を図ること、新たな医療人材の確保を達成する。	%	100	99	99.0	平成28年度から最終年度まで卒業生全てが資格を取得すると想定し、100%を目標値として設定している。 令和元年度は卒業生のうち99%（105人中104人）が資格を取得することができた。	A							A	看護師及び准看護師の養成所（高松市医師会看護専門学校、木田地区医師会附属准看護学院）の運営費の一部を助成することにより、医療人材の確保を図った。	【三木町】木田地区医師会附属准看護学院の運営に対して助成を行った。	
			17	医療職員の交流等	地域医療連携カンファレンス・セミナーにおける高松市外参加者数	地域の連携医療機関の医師との医療連携を進めるため、地域医療連携カンファレンス・セミナーを開催し連携強化に努める	人	18	11	61.1	30年度と比較して18人（年2人程度）増やすとしたが、実績は11名であった。	B	B		A	A	B		B	院外で講師を招聘し、地域医療連携カンファレンスを開催、R元年7月25日 国立病院機構名古屋医療センター 院長 長谷川好規（参加人数95人）	【さぬき市】高松市立みんなの病院主催で、名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座教授を招くなどし、地域医療連携カンファレンスを1回、地域医療連携セミナーを3回開催した。 【土庄町】2名参加 【小豆島町】2名参加 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【綾川町】0件	
			18	ICカードを利用した公共交通利用促進事業	公共交通利用促進事業実施自治体数	取組の目的は、ICカード「IruCa」を利用した公共交通利用促進事業を拡大することにより、公共交通の利便性を向上し、利用の促進を図るものであり、施策の参加自治体を増やす。	自治体	2	2	100.0	R1年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。	A	B		B	A	A		A	R1年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【さぬき市】JR四国各駅での利用に係る検討状況等について協議した 【土庄町】航路及び路線バスの利便性向上を図るため、バス及び航路でICカードが利用できる旨の周知広報及び運転免許証自主返納支援事業としてICカードの発行を引き続き行った。 【小豆島町】町内バス路線と航路において導入済である。 【三木町】コミュニティバス等へのICカード導入について具体的に検討ができた 【綾川町】・ゴールドイルカ事業を継続実施。 ・セーフティルカ（70歳未満の運転免許証返納者）へのサービスも継続実施。	
ウ	高等教育・研究開発の環境整備	19	大学等と連携した、将来の圏域を担うリーダーの育成	大学等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数	事業	106	116	109.4	年間3事業ずつ連携事業を増やし、令和5年度までに110事業を目指す。令和元年度は、従来からの継続事業のほか、地元大学の魅力向上に資する取組や観光分野の事業に係る連携を行うなどして目標を達成した。	A	B	A	B	A	B	C	B	「実践活動」を伴う留学と地域企業等での国内インターンシップを組み合わせたプログラムを通じて、グローバル人材を育成する香川地域人材育成コース協議会の事業に対して負担金を拠出した。	【さぬき市】香川大学地域マネジメント研究科で学位を取得しようとする職員に対して助成を行った。 【東かがわ市】本市の就職推進センターが大学のキャリアセンター等と連携し、学生の圏域内企業への就労に向けた支援を行っていた 【土庄町】連携事業の実施には至っていないが、町として各大学と域学連携事業を行った。 【小豆島町】瀬戸内国際芸術祭運営の連携やイベント実施、地元企業へのインターンシップ事業 【三木町】庁内各課に香川大学との連携事業について照会をかけ、改めて連携事業数を把握 【直島町】直島町まち・ひと・しごと創生推進会議委員等、町単独での取り組みは香川大学と実施しているが、圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】情報収集と周知。		

連携協約項目					事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）					連携市町評価								令和元年度 高松市取組実績	連携市町の取組実績				
							KPI	KPI説明	単 位	令和元 年度 目標	令和元 年度 実績	達成 率	令和元年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町		
					20	産学官連携 推進事業	大学及び企業等 との連携事業数	庁内照会により把握した大 学等との連携・協力事業数 及び包括協定を締結する企 業等との連携事業数	事 業	155	178	114.8	大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結 する企業との連携事業数の合計。令和5年度までに 170事業を目指す。令和元年度は、スポーツイベント 等の連携などを積極的に取り組んだ結果、目標を達 成した。	A	B	A	B	B	A	C	B	包括連携協定を締結した企業との連携事業 の一環として職員向けSDG s 研修を開催す るなど、様々な事業を実施するとともに、新た にコカ・コーポラーズジャパンと包括連携協 定を締結するなど、多様な主体との連携推進 に努めた。	【さぬき市】1 件包括連携協定締結。 【東かがわ市】香川大学との域学連携事業の実施 【土庄町】連携事業の実施には至っていないが、町として各大学と域学連携事業を行った。 【小豆島町】香川大学と連携事業を実施。 【三木町】地域公共交通の項目で連携事業を実施 【直島町】直島町まち・ひと・しごと創生推進会議委員等、町単独での取り組みは香川大学と実施しているが、 圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】四国学院大学とお連携協定を締結しており、関係課において協定の内容で連携が取れた。		
		E	その他、高次の都市機能の 集積・強化に係る施策		21	データ利活用 型スマートシ ティ推進事業	連携して収集・分 析する地域課題 の解決につながる データ分野の数	IoT共通プラットフォームを活 用して、各市町と連携し、収 集・分析する地域課題の解 決につながるデータ分野の数	分 野	1	1	100.0	R5目標である4分野に対し、毎年1分野づつ連携す る分野を追加していく計画で目標を設定。 また、R1年度は防災分野について、連携を行った。	A	B	A	B	B	B	C	A	本市のIoT共通プラットフォーム（FIWARE） の共同利用について、連携市町と協議を実施 し、防災分野において、綾川町と実証実験を 実施した。なお、綾川町とは、3 月に令和 2 年度以降のIoT共通プラットフォーム （FIWARE）の共同利用に関する協定を締 結した。 また、最新の I C T ソリューションを展示、紹 介するイベント（スマートシティたかまつICTフ ェア）に連携市町の職員にも参加を呼びかけ たほか、アイデアソンの開催について、連携市町 と連携し、周知を行った。	【さぬき市】関係課への情報提供及び協議を実施。 【東かがわ市】防災分野での連携について担当部局で協議した 【土庄町】関係課への情報提供等を行ったが、連携事業としての実績はなし。 【小豆島町】高松市と連携体制の構築 【三木町】関係者間の調整 【直島町】IoT共通プラットフォームの利活用についての説明会に参加 【綾川町】高松市、観音寺市との協定を締結し、区域的な連携ができた		
3	圏域全体の 生活関 連機能 サービスの 向上	A	生活機能 の強化に 係る政策 分野	(ア)	地域医療	22*1	高松市立病 院運営事業	紹介率 （市民病院）	患者の紹介・逆紹介等の実 施により、圏域の医療提供 体制の充実が図られるとと もに、連携町からの患者を受 け入れる。	%	50	61	122.0	地域医療支援病院の要件である紹介率50%以上 かつ逆紹介率70%以上	A				B	B	B	A	B	高松市立病院の医療機能を発揮・活用する ために、当院の地域医療・患者支援センター において、患者の紹介・逆紹介等地域医療 連携に取り組み、紹介率61%となった。	【土庄町】0 件 【小豆島町】0 件 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【直島町】3件（内救急搬送1件） 【綾川町】みんなの病院への紹介は17件となっている。
					22*2	高松市立病 院運営事業	逆紹介率 （市民病院）	患者の紹介・逆紹介等の実 施により、圏域の医療提供 体制の充実が図られるとと もに、連携町からの患者を受 け入れる。	%	70	81	115.7	地域医療支援病院の要件である紹介率50%以上 かつ逆紹介率70%以上	A				B	B	B	D	B	高松市立病院の医療機能を発揮・活用する ために、当院の地域医療連携室において、患 者の紹介・逆紹介等地域医療連携に取り組 み、逆紹介率81%となった。	【土庄町】0 件 【小豆島町】0 件 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【直島町】実績なし。 離島であるため、島民以外の逆紹介は難しいと思われる。 【綾川町】1名の紹介があった。	
					23	救急医療体 制の確保	市民満足度にお ける「医療体制の 充実」の満足度	休日・夜間における初期及 び二次救急医療体制の確 保を図ることで、市民が安心 して暮らすことのできる環境 づくりを目指す。	%	43	49	114.8	平成 2 8 年度から毎年度0.6%ずつ上昇させ、最終 年度に45.3%の目標値を設定している。 令和元年度市民満足度調査の結果において 49.0%であった。	A							A	A	A	地区医師会への在宅当番医制の委託、歯科 救急医療センターにおける休日・夜間歯科診 療運営事業への助成、病院群輪番制病院 運営事業に対する助成及び夜間急病診療 所の指定管理者による運営により、休日・夜 間における初期及び二次救急体制の確保を 図った。	【三木町】在宅当番医制事業運営費等負担金 （木田地区医師会・木田郡歯科医師会） 病院群輪番制運営費負担金 病院群輪番制病院設備費負担金 【直島町】休日在宅当番医制及び病院群輪番制ならびに高松市歯科救急医療センターの運営について支援を 行った。 【綾川町】参加医療機関数 16 年間救急患者数 1,395（うち転送患者数47）

連携協約項目					事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）					令和元 年度 目標	令和元 年度 実績	達成 率	令和元年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	連携市町評価							令和元年度 高松市取組実績	連携市町の取組実績
							KPI	KPI説明	単 位								さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町	綾 川 町		
					24	救急艇の活用	-	-	-	-	-	-	-	-		A			A	A			C		土庄町との間で搬送実績あり。 【土庄町】救急艇搬送実績 土庄町住民 14件 小豆郡以外住民 1件 【小豆島町】搬送実績 小豆島町：1 4 件 他市町：1 件 【直島町】圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。
					25	島しょ部（土庄町及び小豆島町）への医師派遣事業	医師派遣件数	医師の派遣に関する協定に基づく、派遣件数	件		0	0			高松市立みんなの病院の医師を、島しょ部である小豆島町の自治体病院に派遣した回数	D			D	D					取組実績なし ※小豆島中央病院からの派遣要請が、平成29年度末で、一旦終了したため 【土庄町】実績なし 【小豆島町】実績なし
					26	遠隔医療ネットワークを使った連携	医療情報公開実績件数（H28からの累計）	患者さんの同意に基づき、参加医療機関からの求めに応じた診療情報（画像・カルテ等）の公開件数 年50件、H28～H35までの8か年の累計	件		50	55	110.0		過去実績等を踏まえた目標設定に対し、引き続き開業医への訪問時等の機会を捉え、K-MIXの利用促進を図ったことにより、実績は目標を上回った。	A	B		C	C	B		B		かかりつけ医との情報共有を図ることにより、地域における高度かつ効率的な医療の提供に貢献した。 【さぬき市】本市（市民病院）からの公開情報を拡大し、連携の強化を図るため、本ネットワークシステムの改修を行うとともに、他の医療機関と運用に関する打合せ会を数回開催した。 また、KPIの実績については、他院への公開件数が90件で、本市（市民病院）からの参照件数が0件であった。 【土庄町】実績なし 【小豆島町】実績なし 【三木町】実績なし 【綾川町】実績なし
					27	「地域包括ケア病棟」運用事業	在宅復帰率	地域包括ケアシステムの中で、その一翼を担うため、地域包括ケア病棟の開設し、患者の在宅復帰支援を行う。（在宅復帰率）	%		70	82	117.1		在宅復帰率は施設基準上の指標であり、在宅復帰率7割を満たすことが必須である。	A	B		B	B	B		B		地域包括ケアの後方支援を強化するため、「地域包括ケア病棟」を設置するとともに、入退院支援や在宅医療支援、医療福祉相談などを一元化して提供できるよう「地域医療・患者支援センター」において、急性期を脱した患者の在宅復帰を支援した。 【さぬき市】地域包括ケア病棟の運用にて、看護師等が早期に関わることにより、在宅復帰率の向上に努めた。 【土庄町】地域包括ケア病床を15床から21床に拡充した。 【小豆島町】地域包括ケア病床を15床から21床に拡充した。 【三木町】取組実績なし 【綾川町】当院において、一般病床の一部を地域包括ケア病床に変更し在宅等復帰支援等を行った。
					28	がん検診の広域化	高松市医療機関でがん検診を希望した者のうち、検診受診につながった者の割合	-	%		100	100	100.0		R元年度は、連携市町及び高松市医師会との連携や医療機関との円滑な調整により、目標値を達成した。	A							A		連携市町の住民が、高松市の医療機関で子宮頸がん・乳がん検診を受診できるよう、連携市町及び高松市医師会と連携を図った。 検診期間：R1.7.1～R2.2.29 【直島町】受診を希望する方が希望医療機関で受診ができるよう受診予約調整を行い、受診につながるよう支援を行った。

連携協約項目					事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）					連携市町評価							令和元年度 高松市取組実績	連携市町の取組実績					
							KPI	KPI説明	単位	令和元 年度 目標	令和元 年度 実績	達成 率	令和元年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町		
			(イ)	介護	29	地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）広域利用事業	当該事業所周知率	当該サービス事業者の指導・監督権限を有するため周知を行った割合	%	100	100	100.0	当該サービス事業者の指導・監督権限を有する施設を目標値とし、周知を行った件数を実績とした。	A								C	高松市地域密着型サービス事業者指定に係る制限に関する要綱において、本市域内の地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）については、原則、本市転入後 6ヶ月を経過しない者の利用又は入居はできないが、当該サービス事業所がない直島町からの転入者には、6ヶ月が経過していても利用又は入居できる運用とする。	【直島町】当該地域への認知症対応型共同生活介護への入所希望の相談件数は 0 件。	
					30	在宅医療・介護連携推進事業	医療・介護関係者が多職種連携についてできていると評価した点数（10点満点）の平均	多職種連携研修等に参加している専門職による、地域の多職種連携構築度評価の平均得点（最高10点、最低0点）	点	5.5	5.6	101.8	医療・介護関係者が、多職種連携ができていると評価した点数が、目標値を超えたため。	A						A	C	在宅医療・介護連携推進事業の8事業項目において、更に内容を充実させるため、下記の事業に取り組んだ。 ○在宅ケア便利帳（Web版）の維持・管理 ○在宅医療支援センターの運営 ○入退院支援ルールづくり ○多職種のためのSNSサービスの導入 ※一部、コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった行事あり。	【三木町】在宅医療・介護連携推進事業の事業項目の（ア）・（イ）・（ウ）・（エ）・（オ）・（カ）・（キ）・（ク）のすべての項目に取り組んだ。医療介護の資源リストや情報共有のためのツールとして手帳等を作成した。 【直島町】関係者会に参加し、情報交換を行った。		
					31	地域包括支援センター運営事業	自立高齢者率	介護・支援を必要としない65歳以上の高齢者の割合（％）	%	78.7	78.4	99.6	R1年度より、介護保険サービス利用者の維持・改善（悪化）率の要因分析を始め、その分析結果から見えてきた課題にR2年度から取り組む予定である。R2年度以降に効果判定となる。また、介護・支援を必要としない65歳以上の高齢者の割合は、サービス利用以前の健康づくり、介護予防なくしては改善できない。これまでの介護予防事業に加えて、保健事業と介護予防の一体的な実施がR2年度から始まるため、効果判定はR3年度以降になる。	A	B	A	C	B	A	A	C	圏域市町との情報交換会を開催した。 R1.12.5は、「成年後見制度利用促進における中核機関の取組、次年度の在宅医療・介護連携推進事業の展開」をテーマに開催した。R2.1.14には、サードレベル研修を一部関係市町に案内し、さぬき市、土庄町、小豆島町の5名が出席した。	【さぬき市】【元気のからくり教室】854回、参加延べ人数9,844人 【いきいき健康教室】196回、参加延べ人数2,007人 【介護予防サポーター活動回数・延べ参加人数】養成講座 1回・8人、地域活動76回・197人、定期研修48回・258人、全体研修2回・56人 【東かがわ市】地域包括支援センターにかかる情報交換会に1回参加 【土庄町】研修会に参加した。 【小豆島町】情報交換会への事前意見調査等にて資料提出（12/5開催分）。研修会へ参加（1/14開催） 【三木町】高松市の呼びかけにより情報共有のための、意見交換会が実施され、有意義であった。 【直島町】情報交換会（2回）に出席した。 【綾川町】地域包括支援センター運営		
					32	徘徊高齢者保護ネットワーク	徘徊高齢者保護ネットワークによる発見率	徘徊高齢者保護ネットワークに提供された、徘徊高齢者の搜索依頼件数に対する発見割合	%	100	90	90.0	徘徊高齢者の全員を発見することを目標としているが、高松市内で発生した、8件の搜索依頼のうち8件全てを発見できたことによるもの。	A	B	B				A	B	認知症高齢者の行方不明事案が発生した場合に、警察署や市役所の関係課などの関係機関が連携する「徘徊高齢者保護ネットワーク」を活用し、より広域で徘徊高齢者の情報を共有化することにより、当該高齢者の早期発見に取り組んだ。令和元年度の連携中枢都市圏域でのネットワーク利用は、0件であった。	【さぬき市】周辺市町との徘徊高齢者保護ネットワークを活用した他市町への搜索協力依頼は0件でした。他市町からの搜索協力依頼は1件で、ネットワークを活用した。 【東かがわ市】かがわ高齢者見守りネットワークにより広域的に実施 【三木町】徘徊高齢者保護ネットワークでの搜索の実績はないが、県の認知症高齢者行方不明等に関する連絡事務要領による行方不明者高齢者の搜索協力依頼をし、搜索をした事例があった。 【綾川町】当町のネットワーク（綾川町高齢者声かけ・見守りまちかどほっと歓事業）における徘徊高齢者の搜索依頼件数は2件であり、そのうち1件は発見され、もう1件は現在も発見されておらず依頼継続中である。また徘徊高齢者位置情報システム補助申請は3件あり、うち1件は徘徊に至ったものの早期発見につながっている。		
					33	介護認定審査会事業	介護認定審査会開催件数	原則週2回開催される介護認定審査会開催の開催数（グループ毎の合計）	回	679	609	89.7	目標設定方法：認定審査会の年間開催予定数を目標値とする。 実績の理由：審査案件数が少ない週は認定審査会が不開催となる合議体も発生するため、目標値を下回った。	A							A	A	A	3町から委託された審査案件全てを認定審査会にて審査・判定し、要件に合致する認定申請については、認定審査会を簡素化して実施した。簡素化の実施により、1回の審査会で審査・判定できる審査案件数が増加したため、認定審査会の年間開催予定数をこれまでより減少させた。 11月末に1市3町の連絡会を実施し、意見交換等の情報共有を図った。	【三木町】介護認定審査会開催 51回 【直島町】介護認定審査を依頼。依頼件数は230件。 【綾川町】開催件数・・・51回 審査会委託件数・・・1,598件

連携協約項目					事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）							連携市町評価							令和元年度 高松市取組実績	連携市町の取組実績		
							KPI	KPI説明	単 位	令和元 年度 目標	令和元 年度 実績	達成 率	令和元年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町			綾 川 町	
				(ウ) 福祉	34	自立支援協議会運営事業	全体会開催回数	定期的な情報共有を図るとともに、検討する場として開催している、全体会開催回数を成果指標とする。	回	2	2	100.0	例年通り年2回開催を継続。	A						A	A	・障害福祉施策についての周知を行った。 ・関係機関の連携強化及び相談支援の充実・強化を図るための研修等を行った。 ・専門部会等の運営を行った。 ・その他の相談支援充実・強化を図るための事業を行った。	【三木町】高松圏域自立支援協議会の運営費を負担するなど、運営事業について支援した。 【直島町】毎月開催の自立支援協議会運営会議、子ども部会・発達障害部会医ケア部会に随時出席。 年２回開催の全体会に出席。	
					35	障害支援区分等審査会業務の連携	審査会開催回数	原則毎週水曜日に審査会を開催していることから、開催回数を成果指標とする。	回	50	48	96.0	年間最大50回の開催を継続。	A						A	A	A	・審査会を48回開催し、市と３町の審査について、引き続き連携した。 ・審査件数：高松市730件、三木町39件、直島町5件、綾川町56件	【三木町】審査依頼件数39件 【直島町】障害支援区分の認定審査を依頼。依頼件数は5件。 【綾川町】毎週水曜日開催（8月のお盆の週、年末年始、祝日は休会）
					36	ファミリー・サポート・センター事業	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	件	6,900	10,558	153.0	過去の実績等から目標を設定した。 R元年度は、広報誌の発行や交流会の開催など、制度の周知に努め、目標を達成した。	A	B					B	B	援助活動件数：10,558件 会員養成講座：年間で計3回開催、会員スキルアップ講座：年2回開催、会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：26・27号発行	【さぬき市】会員登録者数（おねがい会員245人、まかせて会員151人、どちらも会員8人） 援助活動実績数1,637件 【三木町】「広報みき」で出張登録会等の事業についてのPRを実施した。また、子育てハンドブック改訂版「みき育ぼん」において、ファミリー・サポート・センターについて掲載し、子育て家庭へ事業の周知を行った。 【綾川町】パンフレットの配布、広報誌への掲載等住民への周知を行うとともに、利用料補助を行った。	
					37	移動図書館巡回事業	貸出冊数	直島町の巡回ステーション2か所における年間図書貸出冊数	冊	7,000	6,725	96.1	ビジョン最終年度の目標値を前倒しで令和元年度の目標値としている。直島町広報紙等による、移動図書館巡回日程等の周知効果が表れてきていると考えられる。	A							A	毎月1回、移動図書館車が直島町内の2ステーションを巡回し、図書館サービスを提供した。	【直島町】・年間利用者のべ746名 ・同貸出し冊数6,725冊	
					38	読書推進ボランティア養成事業	講座受講者数	読書推進に係るボランティア養成講座の年間受講者数	人	120	127	105.8	ボランティア養成講座の各定員の合計人数を目標値としている。これまで個別に実施していた絵本の読み聞かせやブックスタートを行うボランティアのほか、ストーリーテリング等を対象に実施したが、H30年度に比べて講座回数が増えたこともあり、総参加者は増加した。	A	B	B	C	B	B	C	B	ブックスタート、視覚障がい者支援、0・1・2歳の子どもへのおはなし会やストーリーテリングについて、読み聞かせボランティア等の技術の習得や向上を図るため、連携市町のボランティア（グループ）も参加対象として、講座を計4回実施し、127人（広域14人）の参加があった。また、情報共有のため、年度途中から各市町へ開催報告を行った。	【さぬき市】さぬき市から2名の職員が受講 ボランティア団体にも案内しているが、申し込みは直接高松市に対して行っているため受講者数は把握できていない。 【東かがわ市】研修内容の実施内容等について情報共有を行った 【土庄町】高松市立図書館の行事のチラシなどを当館のカウンターに置くなどは協力したと思われるが、参加しなかったため実績なし。 【小豆島町】チラシ頒布 【三木町】町内外に対し情報発信を行った 【直島町】例年実施しているメンバーであるため、研修会等は取り組み実績なし。 【綾川町】受講者数 0人。事業の実績報告及び講座で用いた資料の提供をうけ、図書館へ配布。	
					39	帰国児童等支援事業	帰国児童等への日本語指導等対応率	指導を行った件数／指導が必要な帰国児童等	%	170	99	58.2	帰国児童等への日本語指導等に十分に対応でき、児童生徒の円滑な学校生活や学習支援に寄与した。	C						C	B	近隣自治体と要支援情報等について情報を共有し、支援が必要な児童生徒の対応に生かした。また、近隣自治体にも情報提供を行った。帰国児童等の急な入れ替わりにより、日本語指導者の派遣が難しいものとなった。	【三木町】要支援情報等について、帰国児童等が在籍する学校と情報を共有した。 【綾川町】指導時間 週1時間程度 年間49時間指導	
					40	特別支援教育推進連携事業	相談希望校等への相談訪問率	相談訪問件数／相談希望校数	%	100	95	95	障がいの種類が複雑になっており、支援を適正に行う体制整備を行う必要があるなかで、相談を希望した学校にはすべて対応できた。	A				C	B	B	B	高松市が中心となって高松地域連携推進協議会を運営した。	【土庄町】町独自で相談訪問率100%を達成したが、連携事業としての実績なし 【小豆島町】取り組み実績なし。 【三木町】年2回の地域連携推進委員会のうち、1回を高松地域で実施し、就学指導の現状や課題について協議した。 【綾川町】県の補助事業を有効に活用し、支援や相談等を必要とする保育所・こども園・小学校・中学校に早期支援教育コーディネーターを派遣した。また、綾川町就学指導委員会事務局担当者等への指導・助言を依頼した。	

連携協約項目						事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）						高松市	連携市町評価							令和元年度 高松市取組実績	連携市町の取組実績
								KPI	KPI説明	単位	令和元 年度 目標	令和元 年度 実績	達成率		令和元年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町		
	41	こども未来館学習体験事業	こども未来館学習参加校数	こども未来館学習参加校数	校	50	61	122.0	【R1年度の目標設定方法】 高松市内の小学校と瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校を合わせて、50校としていた。 【目標値に対する実績の理由】 R1年度には希望する市内の中学校5校を受け入れたため、目標値を超える61校が実施した。	A	B		B	A	A	A	B	高松市内の小学校48校、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校8校、高松市内の中学校5校の合わせて61校がこども未来館学習を実施した。	【さぬき市】さぬき市内 小学校 1 校実施 ・寒川小学校 令和元年 9 月 1 2 日 4 年生 【土庄町】町内小学校の1校が参加 【小豆島町】町内の小学校から、1 校が参加した。 【三木町】小学校 4 校のうち 2 校が実施。 【直島町】参加者数26人（児童23人、引率教員3人） 【綾川町】定例校長会でこども未来館の情報提供を行った。また、校外学習担当者や特別活動主任等が施設を見学した。				
	42	史跡・遺跡の調査研究及び発信	講座等参加者数	圏域内の史跡・遺跡の調査研究について、講座等でその成果を紹介し、情報発信を連携して行う。その参加者数	人	3,000	2,359	78.6	講座等を年間を通して実施したほか、出前講座等で多くの人に遺跡の調査研究の情報発信を行う機会を設けた。	B	B	A	B					発掘調査現場の見学会の実施 3 回 一般向けの見学会及び講演会等の出前講座の実施 3 3 回 学校向けの見学会・出前講座 1 3 回 シンポジウム・連載講座の開催 5 回	【さぬき市】高松藩主松平家墓所国史跡指定記念シンポジウム 【東かがわ市】引田城跡啓発事業（引田城ガイド等）を実施し、27回222名の参加があった 【土庄町】「石の島」が日本遺産認定（岡山県笠岡市、丸亀市、小豆島町との共同）に認定され、その情報発信等や文化財の記録作成事業に取り組んだ。				
	43	高松市埋蔵文化財センターの運営	施設利用者数	埋蔵文化財の調査技術、調査成果等に関する情報交換を行うとともに、埋蔵文化財の情報発信事業（展示等）のための資料の相互貸借を行う。その利用者数	人	3,000	2,096	69.9	企画展や体験講座を実施して、イベントに参加する機会を多く設けた。	C	B	A	C	B			B	企画展の開催 2 回 夏休み講座の開催 4 回 体験講座の実施 5 回	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】引田城跡の啓発イベントにかかる文化財について、高松市文化財センターと相互利用に向けた調整を行った 【土庄町】刊行物の相互交換などを行ったが、連携事業としての具体的な実績はなし 【小豆島町】刊行物の相互交換など 【綾川町】実績なし。				
	44	中学校総合体育大会等の連携	中学校総合体育大会等における実施競技数	中学校総合体育大会・中学校新人体育大会における実施競技数に、中学校駅伝競走大会を加えた競技数	競技	18	18	100.0	目標設定方法の理由：例年実施している競技の大会を継続して開催することにより、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めるなど、体育の充実発展と心身ともに健全な生徒の育成を図ることができる。 目標値に対する実績の理由：例年どおりの競技数の大会を開催し、部活動等での練習の成果を発揮することができた。	A					A	B	高松地区総合体育大会、高松地区新人体育大会及び高松地区駅伝競走大会の開催	【三木町】総合体育大会・新人体育大会を実施した。 【直島町】・中学校総合体育大会 参加競技数4種目（参加生徒数のべ49人） ・中学校新人体育大会 参加競技数3種目（参加生徒数のべ35人） ・中学校駅伝競走大会 参加なし					
	45	高松市屋島競技場の活用	屋島競技場利用者数	屋島競技場の利用者数（旧屋島陸上競技場閉場前3年間平均値：62,827人）	人	113,000	115,277	102.0	旧屋島陸上競技場利用者と比較して、令和2年時点で、利用者数の8割増を目標とした。指定管理者と連携し、各種イベントの実施等利用者増の取り組みを行った結果目標を達成した。	A	B	C	C	C	B	C	C	中国・四国パラ陸上競技大会の開催 陸上競技団体（大学陸上部等）の合宿誘致 2019世界パラ陸上競技選手権大会日本代表合宿	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】移動費等の経費の問題から近隣の施設を利用しており、屋島競技場の利用にはつながっていない 【土庄町】イベント等のチラシを関係施設に配布したが、連携事業としての具体的な実績はなし 【小豆島町】実績なし 【三木町】各種イベントのPRを図る 【直島町】広報周知等の取り組み実績なし。 【綾川町】実績なし				
46	地域密着型トップスポーツチームの試合観戦機会等の提供	トップスポーツチーム試合観戦者数	地域密着型トップスポーツ4チームのホームゲームにおける観戦者数	人	154,500	73,238	47.4	3ヶ年（24年度～26年度）の実績（前年比）の平均値を基に、算出している。 いずれのチームの観客数も減少したが、特にJ3に降格したカマタマーレ讃岐は前年比55.6%の大幅減となり、香川ファイアアローズは成績が向上したものの、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、シーズン途中で終了したため、こちらも前年比63.3%の大幅減となった。	D	B	A	A	B	B	B	B	圏域内の児童生徒等に、高松市内を拠点に活動している地域密着型トップスポーツチームの試合観戦の機会を提供するため、チーム等との連絡調整及び取りまとめ事務を行った。	【さぬき市】香川県地域密着型スポーツ活用協議会交流事業を利用したイベントを実施。 香川オリブガイナース：ホームタウンデーイベント実施 カマタマーレ讃岐：ホームゲーム最終戦でさぬき市サンクスDAYイベントを実施 【東かがわ市】高松合同カマタマーレ讃岐体験会＆観戦ツアー、香川ファイアアローズ親子観戦ツアー 【土庄町】高松ファイアアローズ公式戦開催およびアカデミーの開催 【小豆島町】チラシ配布 【三木町】各種イベントのPRを図る 【直島町】香川県地域密着型スポーツ活用協議会を利用し香川オリブガイナース及びカマタマーレ讃岐の試合観戦を行ったため、実績なし。 【綾川町】香川オリブガイナースの綾川町ホームタウンデーを開催し、観戦機会の拡大を図った。。					

連携協約項目					事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）					連携市町評価								令和元年度 高松市取組実績	連携市町の取組実績					
							KPI	KPI説明	単 位	令和元 年度 目標	令和元 年度 実績	達成 率	令和元年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町			
				(オ)	地域振興	48	グリーン・ツーリズム等農業振興事業	グリーン・ツーリズム等参加者数	農業体験等のグリーン・ツーリズムを推進し、都市住民との交流促進及び農業所得の向上を図る。	千人	178	174	97.8	R1年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。 目標値に対する実績の理由：実践団体も増加しており、概ね目標程度の実績となった。	A				B	B	B				グリーン・ツーリズムをPRし、農業体験等を通じた圏域住民との交流促進を図った。	【土庄町】連携事業の実施には至っていないが、町としてグリーンツーリズム推進を図った。 【小豆島町】実施していない 【三木町】県とともにパンフレットを通してグリーン・ツーリズムの推進、情報発信を行った。
						49	獣害対策事業	ニホンザルの農作物への被害面積	高松市鳥獣被害防止計画に基づく、ニホンザルの農作物への被害面積	ha	2.03	2.02	99.5	R1年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。 目標値に対する実績の理由：サルの個体数を減らすことで、農作物被害の減少を図る。効果的なわなの設置と集落による被害防止活動への支援を行い、一定の効果が得られた。	A						B			サルの出没情報を共有し、出没頻度の高い地域に集中的にわなを設置した。これによりサルを7頭捕獲した。	【三木町】高松市東植田町と三木町朝倉地区のニホンザルの出没場所等の情報共有を行った。	
						50	産学官連携推進事業【再掲】																			
						51	生涯学習推進事業	生涯学習コーディネーター養成講座参加人数	本市がほぼ毎月開催している生涯学習コーディネーター養成講座への年間参加延べ人数	人	478	401	83.9	R元年度目標：各コミュニティセンターから460人、土庄町、小豆島町各1人×9回出席＝18人 各コミュニティセンター、連携町からの参加者数が少なかったため目標に達しなかった。	B				C	B				生涯学習コーディネーター養成講座を、年間10回実施し、5月からの9回について連携町である2町に対して参加を依頼したが、参加者は0名であった。また、生涯学習センターで実施している講座を掲載している「まなびかんづめ」を連携町に送付し、連携町での周知等を依頼した。	【土庄町】各種講座について、住民に周知した。 【小豆島町】チラシ頒布	
					52	男女共同参画センター学習研修事業	学習研修事業参加者数	学習研修事業に参加することによって、男女共同参画に関する意識が啓発される可能性が高いため。	人	3,600	2,034	56.5	令和元年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できなかった講座があったことなどから、目標を達成することができなかった。	C				B	B			C		男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施した。 ○学習研修事業 全57回 ・だれもがいきいき参画・まちづくり講座（5回） ・参画センター出前セミナー（7回） など	【土庄町】各種講座について、住民に周知した。 【小豆島町】高松市のセンターだよりを活用し、周知に努めた。 【綾川町】センターだよりを関係者へ配布している	

連携協約項目					事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）						連携市町評価								令和元年度 高松市取組実績	連携市町の取組実績				
							KPI	KPI説明	単 位	令和元 年度 目標	令和元 年度 実績	達成 率	令和元年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町			綾 川 町			
				(カ)	災害対策	53	災害時相互 応援協定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	A	A	A	A	A	A	A	圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、平常時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】大規模災害がなく相互応援は行っていない 【土庄町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【小豆島町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【三木町】圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、平常時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。 【直島町】圏域住民のために必要であり、協定を継続した。 【綾川町】取組実績なし
						54	香川県消防 相互応援協 定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	A	A	A	A	A	A	A	消防相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 実績なし。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】大規模災害がなく相互応援は行っていない 【土庄町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【小豆島町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【三木町】圏域市町に大規模な火災が発生していないため、実績はないが、消防相互応援体制を維持し、不足の事態に備えた。 【直島町】圏域住民のために必要であり、協定を継続した。 【綾川町】取組実績なし
						55	高松空港及 びその周辺に おける消火救 難活動に関 する協定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A					A	A	A	消火救難活動体制を維持し、緊急対応に備えた。 実績なし	【三木町】本協定に定める緊急事態が発生していないため、実績はないが、実態に応じた協定の一部見直しを行った。 【綾川町】取組実績なし
						56	消防業務の 事務委託	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A					A	A	A	受託町における消防行政を円滑に実施するとともに、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進した。 建物火災： 6件（平成31年暦年）	【三木町】火災出場15件（建物火災4件、林野火災1件、車両火災3件、その他火災7件）、救急出場（出場1,291件） 住民の安心・安全に寄与している。 【綾川町】常備消防事務委託
						57	地域防災対 策事業	訓練等に参加した自治体数	災害時の通信方法の確認のため、防災行政無線等を活用した通信訓練を行い、相互の応援要請や被害状況等の把握を行う。	自治体		8	0	0.0	目標設定方法:圏域7市町と、災害時の通信方法を確認するため、計画的に対応自治体を1自治体ずつ増やす。 実績の理由:震災対策総合訓練の一部として実施する予定だったが、荒天により震災対策総合訓練が中止となったため。	D	B	B	B	A	A	B	B	B	荒天により、震災委対策総合訓練が中止となったため、通信訓練を次年度に見送った。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】各種応援協定等は締結しているが研修会や総合訓練などは開催されておらず参加していない。 【土庄町】関係市町で調整し、訓練の実施方法について、検討を行った。 【小豆島町】情報伝達訓練実施に向けた協議を行った。 【三木町】令和2年度から高松市震災対策総合訓練の実施日に併せて実施予定であるため実績なし。 【直島町】取組の拡充等に関して連携市町で協議を行った。 【綾川町】なし

連携協約項目					事業 No	事業 (取組) 名	KPI（成果目標）							連携市町評価								令和元年度 高松市取組実績	連携市町の取組実績	
							KPI	KPI説明	単 位	令和元 年度 目標	令和元 年度 実績	達成 率	令和元年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町	綾 川 町			
				(キ)	環境	58	一般廃棄物の処理・処分に関する業務	-	-	-	-	-	-	-	A							A	綾川町から委託を受け、西部グリーンセンターにおいて、綾川町の区域から排出される一般廃棄物5,050 t（し尿及び浄化槽汚泥を除く。）の中間処理（焼却、破砕）を行った。また、高松市国分寺地区から排出される一般廃棄物を中間処理した後に生じる残さの埋立処分に関する業務を綾川町に委託し、焼却灰2,087 tを綾川町一般廃棄物最終処分場へ搬出した。	【綾川町】綾川町一般廃棄物処理基本計画に基づいて処理を行っている
						59	し尿処理に関する業務	-	-	-	-	-	-	-	B						A	A	三木町・綾川町から排出された、し尿及び浄化槽汚泥の処理を行った。また、本市と綾川町が共有している国分寺町し尿貯留槽の管理を綾川町に委託した。処理実績　6 1,4 5 0 kℓ（内訳）し尿 1 3,7 6 3 kℓ 浄化槽汚泥 4 7,6 8 7 kℓ 計 6 1,4 5 0 kℓ	【三木町】三木町から排出されたし尿及び浄化槽汚泥の処理を行った。処理実績 8,201Kℓ（内訳）し尿 1,771kℓ 浄化槽汚泥 6,430kℓ 【綾川町】施設の老朽化による修繕は時々あるが、修理対応はできている
						60	環境学習等推進事業	環境学習講座参加者数	環境学習講座（環境ワークショップ）、出前講座及び自然観察体験事業の参加者数の合計	人	2,300	2,529	110.0	瓦町 F L A G の市民活動センターでも講座を実施するなど、参加者数は目標を達成しており、環境意識の向上が図られ、またR1年度も圏内からの参加があった。	A	B	B	B	B	A	B	B	環境学習講座の参加応募条件を「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内に在住、又は通勤・通学する方」として、広報紙やホームページで参加者を募った。	【さぬき市】県主催の緑のカーテン育成講習会をみろく自然公園にて共同開催した。 【東かがわ市】ごみの減量化に係る出前講座 2 回　緑のカーテンを広報誌で啓発 1 回 【土庄町】小豆島グリーンセンター、土庄小学校で環境学習各1回実施。 【小豆島町】取り組み実績なし 【三木町】三木浄化センター及び三木町グリーンセンターの施設見学を中心とする親子で学ぶ環境教室を実施した。参加者数22名（児童14名、保護者8名） 【直島町】環境フェスタ2019を開催　直島小学校環境教室を年に4回開催した。（干潟観察、アママ見学、ハマチ養殖体験、ノリ養殖体験） 【綾川町】実績なし
						61	環境負荷の少ない自動車の普及促進	電気自動車の普及台数	環境に負荷の少ない電気自動車を多くの住民に周知することにより、自動車の新規購入や買換えの際における電気自動車購入の意識付けを行う。また、急速充電器の管理・運営を行うとともに、充電設備の設置状況の情報提供を行うことなどにより、電気自動車の普及を図る。	台	641	401	62.6	過去の電気自動車保有台数（実績）の平均増加率と同程度の増加分が今後も継続するものとして目標値を算出。達成率は62.6%で伸び悩み傾向にあるが、保有台数は毎年着実に増加している。	C	C	C	B	B	B	C	B	環境展及び S T O P ！地球温暖化展で電気自動車等次世代自動車普及啓発パネルを展示し普及啓発を図った。また、車体をラッピングした公用電気自動車を市内走行させ P R するとともに、走行実績に伴う温室効果ガス削減量等の情報をホームページに掲載した。さらに、市が市内道の駅等 3 か所に設置した急速充電器の情報発信と運営管理を行った。	【さぬき市】取組予定及び実績なし 【東かがわ市】市独自の取り組みがなく、高松市実施の事業への参加も行えていない 【土庄町】クールチョイスにより、電気自動車の試乗会を実施。 【小豆島町】圏域内の連携行動は特になし。 ※小豆島町が独自に整備した充電施設などの保全に努め、自分のあいだ無償利用とすることで、電気自動車の普及を促進。 【三木町】「ストップ！地球温暖化展」など環境問題をテーマとしたイベントの周知 【直島町】町が率先して電気自動車の使用を行い住民に啓発活動を行った。 【綾川町】今年度の実績はないが、次年度に電気自動車の導入を図り、住民への周知を図っていく。
						62	小型家電等リサイクル推進事業	年間回収量	市が実施するボックス回収・ピックアップ回収・イベント回収により回収された使用済小型家電の総量	トン	17.7	18.7	105.5	市民への周知・啓発活動を行い、使用済小型家電の回収量増加と循環型社会の意識の啓発につなげる。 回収目標については、R5年度の目標を8トン（市民一人当たり約20g）と設定し、その途中段階であるH29年度の目標は6トン（市民一人当たり約15g）と設定している。 令和元年度は、引き続き市民への周知・啓発活動に努めたが、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」が平成30年度に終了したことから前年度より回収量が減少した。	C	B	B	B	B	B	A	A	・市内 2 2 か所でのボックス回収、ピックアップ回収、イベント時の回収を実施した。 ・「小型家電等リサイクル推進事業担当課長会」を開催し、事業結果の検証と今後の取り組みを報告した。	【さぬき市】各支所含む計 4 か所においてボックス回収を行い、合計168kgの使用済小型家電の回収があった。 【東かがわ市】拠点 3 か所でのボックス回収を実施し、回収及び周知を行っている 【土庄町】ポスターの掲示等による周知等を行った。 【小豆島町】拠点 2 か所でのボックス回収を実施し、回収実績は0.53 t。 【三木町】町内公共施設 2 箇所に使用済小型家電の回収ボックスを設置して回収した。 【直島町】ピックアップ回収　年間総量:11.8トン 【綾川町】H 3 0 年度回収量　1,3 5 0 kg ⇒　R 1 年度回収量　2,9 7 0 kg

連携協約項目					事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）							連携市町評価								令和元年度 高松市取組実績	連携市町の取組実績	
							KPI	KPI説明	単 位	令和元 年度 目標	令和元 年度 実績	達成 率	令和元年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町	綾 川 町			
		イ	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(ア)	地域公共交通	63	不法投棄対策事業の推進	不法投棄撲滅ふれあいグリーン作戦参加者数	各市町が連携して地域住民及びボランティア参加のグリーン作戦を実施することで、地域の環境美化と不法投棄撲滅に対する意識啓発を図る。	人	7,400	3,100	41.9	毎年実施していたグリーン作戦参加者数を目標値として設定していたが、グリーンウォーク inしおのえは、令和元年度から、地域一斉清掃に変更になったこと、むれ・あじ 源平の里グリーン作戦は雨天により中止、また、屋島グリーン大作戦は、新型コロナウイルス感染防止のため中止になったことから、大幅に参加者が減少してた。	D	B	A	B	A	B	B	A	例年実施している４か所のグリーン作戦を予定どおり実施した。加えて、瀬戸内国際芸術祭が開催されたことから、きれいな街高松として来県者を迎えるため、おもてなしグリーン作戦を実施した。	【さぬき市】清掃活動を行う団体に対し、ごみ袋の支給及び清掃用具の貸し出し、ごみの回収などの支援を行い、延べ約6850人がグリーン作戦等の環境美化活動に参加した。 【東かがわ市】情報交換会 １回 市環境美化促進員によるパトロール 7回 海岸・河川清掃を実施 【土庄町】近隣市町村と協力し、同時期開催による不法投棄撲滅を目的とした土庄港周辺のグリーン作戦等を行った。また、各自治会ごとに定期的な海岸清掃活動を行ったり、継続的なパトロールを行い、不法投棄が発生した場所を監視している。 【小豆島町】情報交換＝1回/年 グリーン作戦等の行事は、それぞれの連携町が単独で実施。 【三木町】令和元年年12月1日高松市公洲森林公園で、きれいな自然環境を守ろう！高松・三木出会いふれあいグリーン作戦を実施した。参加者数330名（三木町171名、高松市159名） 【直島町】R元.7.6町内海岸 参加者約620名 回収量3.4トン 8月～2月（月2回）重点海岸漂着物回収 延べ56名、回収量1.18トン 【綾川町】5月 綾川町グリーン作戦 1月 エアポートグリーン作戦 3月 綾川河川清掃
						65	コミバス等へのIruCa導入事業	コミバス等へのIruCa導入事業参加自治体数	取組の目的は、ＩＣカード「I r u C a」による各種割引サービスの適用を受けることができるよう、コミバスにシステムを導入し、利便性の向上を図るものであり、施策の参加自治体数を増やす。	自治体	1	1	100	R1年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。 毎年１自治体追加することを目標として設定した。	A	B		B	A	A		B	R1年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【さぬき市】導入費用等について協議した 【土庄町】IruCa導入について検討を行っているが、事業実施については未定 【小豆島町】町内バス路線と航路において導入済である。 【三木町】コミュニティバス等へのＩＣカード導入について具体的に検討ができた 【綾川町】コミュニティバスへのＩＣカード導入に向け、高松市、綾川町において協議を行った上で町の委託事業者と協議を実施した。
						66	地域公共交通再編事業	圏域市町と高松市をアクセスするバス路線数	取組の目的は、連携市町と高松市間の公共交通によるアクセス手段を確保することにより、公共交通の利便性向上を図るものであり、自治体を繋ぐバス路線数を増やす。	路線	3	3	100	R1年度は、事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。 R1年度は、周知・情報共有などの準備期間であるため、現状維持を目標として設定した。	A	B	A			A		A	R1年度は、広域的なバス路線の再編について、需要調査を実施するとともに、連携自治体に対し、事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【さぬき市】新たな広域連携を促進事業に関連し、広域的な公共交通ネットワークについて協議した 【東かがわ市】公共交通網形成計画の策定に向けて地域公共交通活性化協議会を実施、地域や事業者等との協議を行った。圏域内自治体での公共交通に関する協議に参加した。 【三木町】広域的な公共交通ネットワークの構築に向けた担当者間の協議 【綾川町】町内の公共交通の利便性の向上を目指し、将来的な展開としての協議を行った。
						(イ)	ICTインフラ整備	67	データ利活用型スマートシティ推進事業【再掲】															
(ウ)	道路等の交通インフラの整備・維持	68	橋りょう改築修繕事業	-	-					-	-	-	-	B	A	A	C	C	B	B	B	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】橋りょう修繕工事 13橋 138,204 千円 橋りょう修繕計画業務 7橋 10,683千円 橋りょう点検業務 46橋 7,013千円 【土庄町】道路管理者として橋梁の点検を近接目視により５年に１回の頻度で行うことになっており、昨年は町直営にて６５橋の調査を行ったが、特に高松市と連携して行う案件が無かったため、連携した取組実績はなかった。 【小豆島町】道路メンテナンス会議に参加した。 【三木町】「道路メンテナンス会議」にて情報共有を行った。 【直島町】圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていないが、前年の点検結果等を踏まえ、１基の補修工事を実施。 【綾川町】行政界を跨ぐ事業がなく、実績はない		

連携協約項目					事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）					連携市町評価								令和元年度 高松市取組実績	連携市町の取組実績				
							KPI	KPI説明	単 位	令和元 年度 目標	令和元 年度 実績	達成 率	令和元年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町		
					69	道路新設改良事業	-	-	-	-	-	-	-	B	A		C		B		B	行政区域界での生活道路（市道）の新設改良工事について、該当がなかった。	【さぬき市】取組実績なし 【土庄町】道路管理者として必要な町道の新設や改良工事を行ったが、特に高松市と連携して行う案件が無かったため、連携した取組実績はなかった。 【三木町】行政区域界における市道・町道の新設改良工事がなかったため、実績なし。 【綾川町】行政界を跨ぐ事業がなく、実績はない		
					70	ブランド農産物育成支援事業【再掲】																			
					(イ)	地域の生産者や消費者等の連携による地産地消																			
					(オ)	地域内外の住民との交流・移住促進	71	自然体験等を通じた住民の交流の促進	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトへのアクセス数	イベント情報を掲載する瀬戸・高松広域連携中枢都市圏のホームページのアクセス数	件	3,300	8,037	243.5	H29年度実績（訪問者数）をベースに、圏域人口（ビジョン目標）の1%を最終年度の目標とし、暫増を目標とする。周知方法が限定的なイベントなどを周知することで、効果的魅力発信につながった結果、目標達成につながった。	A	B	B	C	B	B	B	B	H28年度に構築した、ポータルサイトについて、適切な保守・管理を行いながら、都市圏ビジョンに基づく取組や本市及び連携市町の魅力を、適宜、発信した。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】市内団体の自主的な取組を支援している 【土庄町】周知チラシを関係施設に配布したが、連携事業としての具体的な実績はなし 【小豆島町】棚田保全のため、棚田オーナー制度を全国各地から募集し、実施しており圏域内からの参加者も多数おり交流が続いている。 【三木町】自然体験に特化したイベントは未実施であるが、今後開催する際には情報発信で周知を行う 【直島町】本町のイベントを掲載してもらった。 【綾川町】農家民宿を開業した方を町HPに掲載した
					72	移住・交流促進事業	圏域市町全体での社会増減	移住促進策の実施に伴う、圏域全体での社会増減数	人	1,004	-260	-25.9	第２期たかまつ創生総合戦略に基づき、目標を設定。若年層（30～44歳）の社会減が影響し、目標値を大きく下回る結果となった。	D	B	A	B	A	A	C	B	香川県と連携して移住フェアに参加するとともに、移住体験ツアーや、家賃等補助事業を実施した。また就職・移住に関する情報発信のほか、「瀬戸・たかまつキャリアサポートセンター」において移住相談や、都内の大学への就職情報の提供などを行った。	【さぬき市】セミナーを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期になった。 【東かがわ市】県移住・定住推進協議会主催の移住フェアに参加した。圏域独自の移住フェアの開催に努めた。 【土庄町】空き家バンク、島暮らし体験の家の運営、都市圏でのセミナー・フェアへの参加などの移住促進施策に取り組んだ。（実績：I・Jターン 123組159人、Uターン52組75人） 【小豆島町】小豆島町移住者数（I・Jターン）134人（Uターン）83人 移住フェア 東京 5回 大阪 1回 【三木町】移住フェア中止のため、実績なし。 【直島町】2月に東京で合同のセミナーを実施予定だったが、新型コロナ感染拡大防止により延期となった。 【綾川町】香川県移住・定住推進協議会での連携。		
ウ	圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	73	人材育成事業、合同研修等の実施	合同研修の開催回数	合同研修の機会を増やし、圏域自治体職員の能力向上及び市町域をまたいだ交流や連携を図るため。	回	5	5	100.0	人材の育成・交流及び圏域のマネジメント能力の向上を図ることができる研修を合同で実施する。R 1年度については、手話技術研修、女性職員エンパワー研修、キャリアデザイン＆モチベーションアップ研修を新たに合同研修として実施し、目標値を達成した。	A	B	A	A	A	A	B	A	実践的政策形成能力を高めるための研修を始め、行政環境の変化に対応できる幅広い視野を養うための教養講演会を合同で実施し、圏域内市町職員の能力・資質の向上を図った。 【開催回数】・業務改善能力向上研修 1回 ・OJT研修 1回 ・手話技術研修 1回 ・女性職員エンパワー研修 1回 ・キャリアデザイン＆モチベーションアップ研修 1回	【さぬき市】キャリアデザイン＆モチベーションアップ研修及手話講座びに参加し、参加者数としては、2名が研修に参加した。 【東かがわ市】2研修に2人参加 【土庄町】合同研修に参加 【小豆島町】2回の研修に各1名が参加した。（係長職員研修、女性職員エンパワー研修） 【三木町】業務改善能力や実践的政策形成能力を高めるための研修をはじめ、行政環境の変化に対応できる幅広い視野を養うための教養講演会に参加し、職員の能力・資質の向上を図った。 【直島町】R 2.2.13・・・1名出席(瀬戸・高松広域連携中枢都市圏講演会) 【綾川町】一般職員第Ⅱ部研修（業務改善）及びキャリアデザイン＆モチベーションアップ研修に各1名参加					
		74	地域コミュニティ人材養成事業	講演会・講習会の参加者数	地域のリーダー養成を目的として実施している人材養成事業の参加者が増加することで、地域コミュニティの自立と活性化が図られる。	人	150	92	61.3	前年度と事業形態に変更がないため、前年度目標値及び実績を基に設定。 各地域での取りまとめを行っているコミュニティ協議会に対し、機会を捉えて講演内容等の周知を行い、参加意欲を喚起した。	C	A	A	D	C	B	B	B	「地域からはじめる「市民主体のまちづくり」という視点から、各地域コミュニティ協議会を対象とした研修を実施した。 開催日：令和２年２月１日 開催場所：まなびCAN 参加者数： 9 2 人 講師：首都大学東京 教授 大杉 寛 氏	【さぬき市】市政懇談会を市内２か所で実施し、自治会長等約 1 5 0 名程度の出席があった。 【東かがわ市】講演内容の調整を行い、開催に際しては地域コミュニティ協議会等への周知を行った。 【土庄町】実績なし 【小豆島町】取り組み実績なし 【三木町】講演会不参加 【直島町】R2.2.1・・・1名出席 【綾川町】事業報告会及び講演会に 1 名している。					